

「令和3年度自殺未遂者研修」(一般救急版)募集要項
＜厚生労働省補助金事業＞

今年度も、新型コロナウイルス感染症の対策状況を踏まえ、オンラインでの開催とさせていただきます。

本研修は、初期対応からアセスメントまで、救急医療現場で役立つ自殺未遂者のケース・マネジメントのポイントを、日本臨床救急医学会が厚生労働省と共に作成したガイドラインに沿って知識として体系的に修得していただくとともに、モデル症例を用いた多職種ワークショップを通じてケース・マネジメントの実践を学んでいただく内容です。講師とファシリテーターは、自殺未遂者の包括的ケアを実践している専門家・専門職が務めます。奮ってご参加のほどお願い申し上げます。

- 主催：いのち支える自殺対策推進センター
- 共催：日本臨床救急医学会、日本精神科救急学会
- 日時：令和4年1月8(土)10:00～17:00(開場 09:30)
- 会場：オンライン開催 Zoom ミーティング
- 対象者：救急医療に従事する医師、看護師、救急救命士、救急隊員、その他、地域救急医療や地域精神保健福祉に関わる方
- 参加費：無料【定員 50 名(多職種共働でのグループワークのため、職種による先着順)】

【参加にあたってのお願いと注意事項】

- ①必ずPCを使ってご参加ください。症例対応のワークショップを、各グループの参加者全員が映るマルチ画面にて共働で行うため、iPad等のタブレット端末で参加することはできません。
- ②使用するPC(マイク、イヤホン、カメラ等の備品及びインターネット環境)はご自身でご用意ください。
- ③使用するブラウザによっては音声や映像が途切れてしまう場合があります。安定的な接続を確保するために、Zoomクライアントソフトからご参加いただくことを推奨いたします。
- ④修了証の発行は、カメラを常時オンにして参加された方に限らせていただきます。
- ⑤同じ部屋から複数の端末で参加する場合は、ハウリングが起きないようにご注意ください。(離れてお座りいただき、全員がイヤホンマイクを使用する等の工夫をお願いします。)
- ⑥参加者の方の録音・録画は固くお断りします。
- ⑦講義のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。

■ プログラム

10:00 【開会】

- ・司会： 三宅 康史(帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長・教授)
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
- ・挨拶： 清水 康之(いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)
三宅 康史(日本臨床救急医学会)
河西 千秋(日本精神科救急学会)

10:10～11:50 【講義1～5】

- ・講義1:「自殺未遂者支援に関する施策と医療の動向」
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)

- ・講義2:「一般救急医療における自殺未遂者等への対応」
三宅 康史(帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長・教授)
- ・講義3:「もう一つの精神科救急:自死遺族対応」
松尾 真裕子(福岡大学病院精神神経科、精神保健福祉士)
- ・講義4:「自殺未遂者ケア・ガイドライン」
大塚 耕太郎(岩手医科大学神経精神科学講座・教授)
- ・講義5:「診療報酬項目:救急患者精神科継続支援料について」
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)

11:50～12:00 【質疑応答】

12:00～13:00 【休憩】

13:00～16:30 【ワークショップ】

- ・演習:「自殺未遂者に対するケース・マネジメント」
司会:大塚 耕太郎(岩手医科大学神経精神科学講座・教授)
杉本 達哉(静岡県立静岡がんセンター腫瘍精神科・医長)

16:30～16:40

- ・閉会挨拶:清水 康之(いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)

16:40～16:50

- ・研修アンケート

17:00 【閉会】

なお、プログラムは一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。
また、自殺未遂の事例を扱うため、受講者により侵襲性が高まる場合があります。

- 申込み期間: 令和3年 11月8日(月)～11月30日(火)
- 申込み方法: 以下の URL よりお申込みください。
<https://forms.office.com/r/VENhSTS3Yx>
- 研修についてのお問合せ
いのち支える自殺対策推進センター 自殺未遂者ケア研修事務局 担当: 津幡・武内
E-mail: care@jscp.or.jp
- 参加申込みについてのお問合せ